

## 教育文化部

## 令和6年度事業を振り返って

教育文化部長 市野川 浩

教育文化部は以下の3つの部会で構成されており、各部会の令和6年度活動概要は次の通りです。

- ①【公民館部会】10月に若槻小学校施設をお借りして実施したスポーツフェスティバルは、昨年度の3種目にグラウンドゴルフも加え(写真参照)4種目実施し、幼児から高齢者まであわせて129名の参加選手を得て大いに盛り上がりました。また、1月3日の新年祝賀会では、一般参加33名がわきあいあいのもと親睦を深めて頂きました。その他、「若槻あいあい文化祭」「二十歳の門出を祝う成人式」の開催等に協力しました。
- ②【人権教育部会】人権基礎研修(5月)、若槻住民集会(7月)、男女共同参画セミナー(11月)ではそれぞれ講師をお招きして、関係者と共にアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)、人権(human rights)等についての研修を行いました。また、人権問題について住民への広報に努めると共に、各区で人権啓発推進活動等を行いました。
- ③【青少年部会】5月に蚊里田八幡宮土俵をお借りして5年ぶりとなる「若槻子ども相撲大会」を小学1年～6年生の男女30名が出場し実施しました。選手の熱血取り組みに土俵回りの父兄・支援者からも熱い応援・歓声が飛び交いました。また、1月の地域レクリエーション(巨大迷路等)では200名を超える参加者のもと、なかには2～4回以上も迷路を駆け抜ける児童もいて引率の御父兄の方々も喜んでおられました。



スポーツフェスティバル

## 市立若槻公民館

## 一年をふりかえって

公民館長 関 隆夫

今年度も若槻公民館は、成人学校(謡曲・太極拳/中国語・英会話(初級)・英会話(中級・上級)・絵画・コーラス・ヨガ・書道)の9学校を開校の他、三登山講座、おりふし講座、エンゼルクラブ、福ちゃんの料理教室などの83講座を開講し、サークル・各種団体等でご利用いただいた皆様を合わせると感染症対策を取りながらも施設全体で延べ23,000名を超える多くの地域の皆様にご利用いただいております。

公民館を利用する皆様が、いつでも気持ち良く学習できる場が大切であると思えます。学びや交流の場を通して、地域の皆様が生きがいや絆づくりができることを目指し、長野市が行っていた公民館業務を平成28年度から若槻地区住民自治協議会与長野市が指定管理の協定を結び、若槻公民館の管理及び運営を「コミわか」が担うこととなりました。本年度で9年目を迎えています。公民館は、世代を超えて大勢の皆様が利用しやすく地域に寄り添い、かつ、親しみやすい公民館であり続けることが大切であると思えます。



## (一社) コミわかグリーン倶楽部

## 一年をふりかえって

(一社) コミわかグリーン倶楽部 藤澤 寛作

当社は、若槻地区内の遊休農地の解消を目的として設立されました。本年度も会員の皆様のご尽力と利用者様のご理解により順調な事業展開ができました。

【市民菜園(コミわか農園) 事業】14年前に20区画でスタートしたコミわか農園は20か所240区画となり、県内でも最大級の規模となっています。若槻地区内外の市民が大勢利用しています。

【皐月かがやきこども園とのさつまいも栽培体験事業(JA吉田支所との協働事業)】園児にさつまいもの苗の植え付け、収穫の体験をしてもらいました。収穫時は掘り出したさつまいもに園児たちは大喜びでした。

【ひまわり・ニンニク栽培事業】ひまわり栽培をしました。順調な収穫でひまわり油販売は土曜朝市で販売しました。ひまわり畑では冬はニンニクを栽培、販売しました。

【りんご体験広場事業】田子のリンゴ畑をお借りしてリンゴの栽培体験を続けています。参加者は春の花摘み、摘果、着色管理、収穫、出荷までを体験。取れたリンゴはJAに出荷するほか参加者にお持ち帰り頂きました。

【野菜づくり講座の開催】従来はコミわか農園利用者に限った講座でしたが、昨年より地区の一般住民にもお呼びかけをしたところ、予想以上の方々に参加して頂きました。